



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

2014年3月期 決算説明会

2014年5月13日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。
従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2014年3月期の概況

II . 2015年3月期の見通し

III . 参考データ

2014年3月期 ポイント

◆**精機事業は前年比増収・増益、映像事業は市況低迷で減収だが増益、会社全体では前年比 3%減収、23%営業増益**

【精機】

半導体、FPD露光装置*ともに販売台数を伸ばし、前年比 15%増収、54%増益

【映像】

カメラ市況が欧州・中国を中心に低迷、前年比 9%減収だが 6%増益。エントリークラス一眼レフの商品ミックス改善、コスト削減の徹底により、営業利益率は2013年3月期下期5.1%から、上期 8.8%、下期 には10.0%(通年 9.4%)に回復

【インストルメンツ】

バイオサイエンス分野は各国公共予算の増加により増収、産業機器分野では非接触三次元測定機やX線検査装置の販売台数を伸ばし、前年比 20%増収、営業赤字幅は縮小

◆**経営対策委員会の成果(コスト削減目標:200億円)**

映像事業で調達コスト・広告宣伝費主体に削減、及び会社全体で研究開発費の効率化により目標達成

◆**期末配当金は22円、年間配当金は32円**

*2014年4月より液晶露光装置はFPD露光装置と呼称を変更しました。

2014年3月期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	14年3月期 実績	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比
売上高	10,104	$\frac{4,972}{5,132}$	10,150	$\frac{4,704}{5,446}$	9,805	$\frac{4,704}{5,101}$	▲ 299	▲ 345
営業利益 売上高比	510 5.0%	$\frac{371}{139}$	650 6.4%	$\frac{219}{431}$	629 6.4%	$\frac{219}{410}$	+ 119	▲ 21
経常利益 売上高比	483 4.8%	$\frac{395}{88}$	630 6.2%	$\frac{200}{430}$	617 6.3%	$\frac{200}{417}$	+ 134	▲ 13
当期純利益 売上高比	424 4.2%	$\frac{320}{104}$	500 4.9%	$\frac{136}{364}$	468 4.8%	$\frac{136}{332}$	+ 44	▲ 32
FCF	▲132		400		709		+ 841	+ 309
為替 ドル	83円	$\frac{79円}{87円}$	100円	$\frac{99円}{100円}$	100円	$\frac{99円}{102円}$	売上高への影響 +1,281 + 43	
ユーロ	107円	$\frac{101円}{114円}$	133円	$\frac{130円}{136円}$	134円	$\frac{130円}{139円}$	営業利益への影響 + 379 + 9	

精機事業は前年比増収・増益、映像事業は市況低迷で減収だが増益、
会社全体では前年比 3%減収、23%営業増益

* 前回予想とは2014年2月6日発表における予想です。スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

2014年3月期 精機カンパニー

単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	14年3月期 実績	上期 下期
売上高	1,790	$\frac{804}{986}$	2,150	$\frac{798}{1,352}$	2,054	$\frac{798}{1,256}$
営業利益 売上高比	130 7.3%	$\frac{72}{58}$	190 8.8%	$\frac{37}{153}$	200 9.7%	$\frac{37}{163}$
半導体露光装置 新品/中古	25/15台	$\frac{9/5}{16/10}$	36/10台	$\frac{10/2}{26/8}$	32/8台	$\frac{10/2}{22/6}$
FPD露光装置	43台	$\frac{25}{18}$	55台	$\frac{35}{20}$	56台	$\frac{35}{21}$
半導体露光装置 市場規模 CY12/13	222台		209台		209台	
FPD露光装置 市場規模 CY12/13	66台		73台		73台	

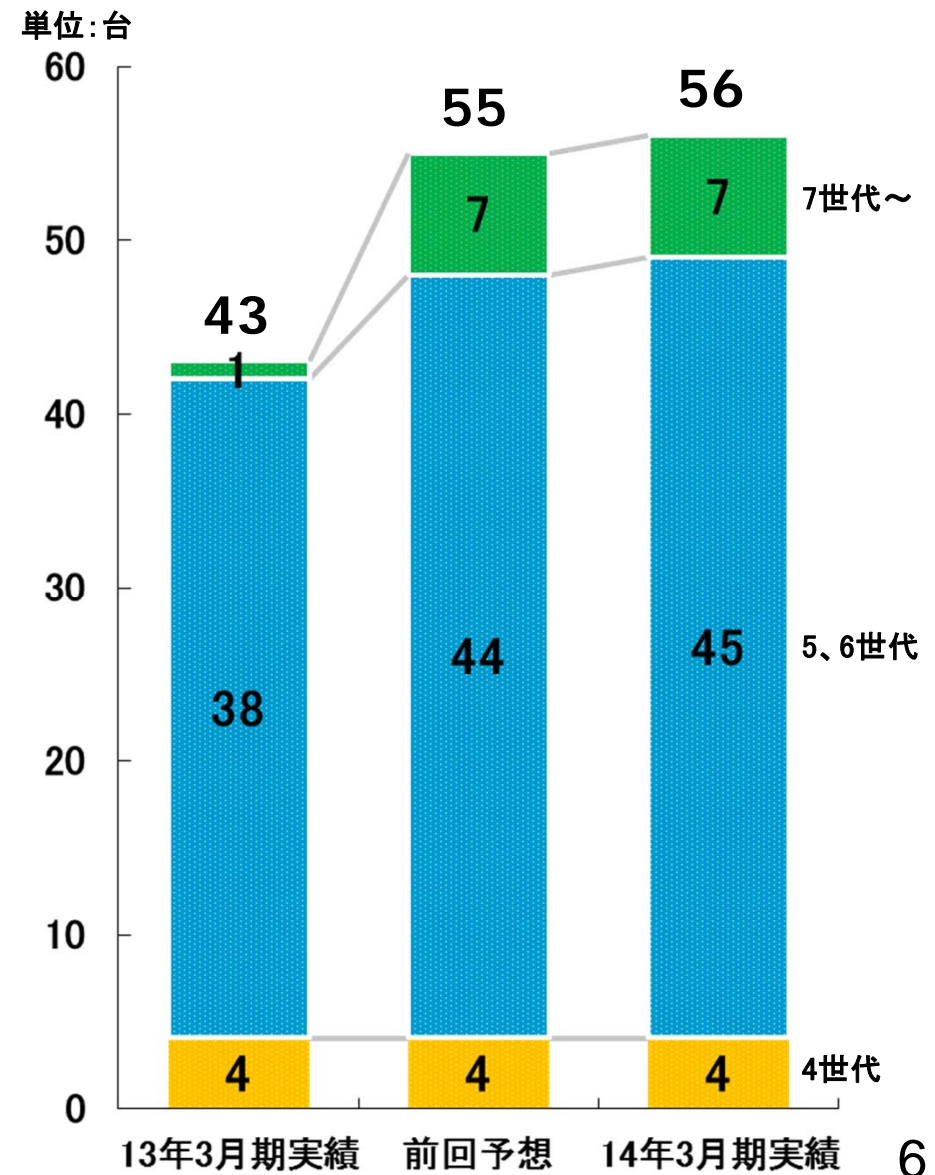
前年比、半導体露光装置の新品は 7台増加、FPD用は13台増加して、売上高は前年比15%増の2,054億円、営業利益は70億円増加して200億円

2014年3月期 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)



FPD露光装置世代別販売台数



2014年3月期 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



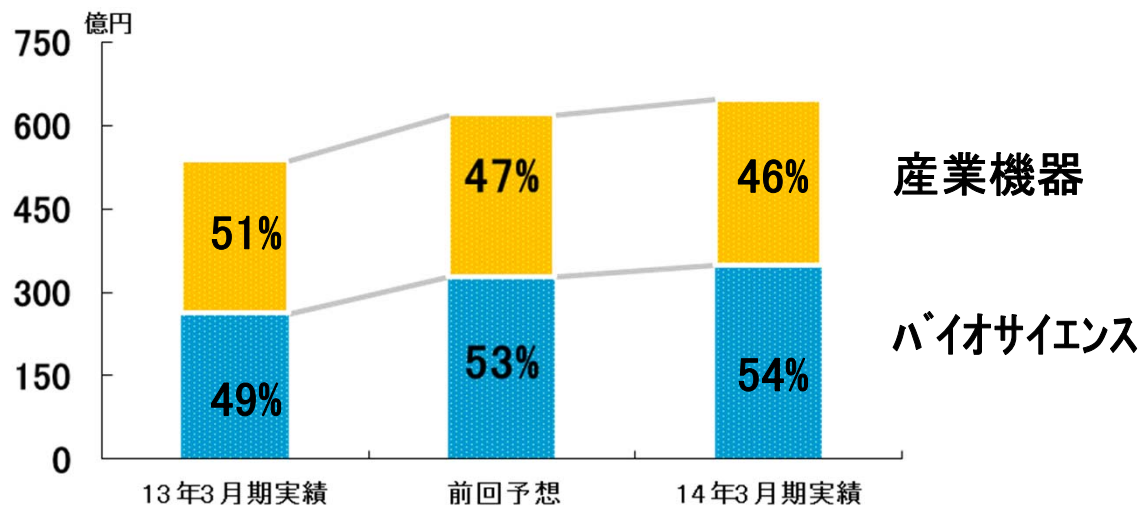
単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	14年3月期 実績	上期 下期
売上高	7,512	$\frac{3,810}{3,702}$	7,100	$\frac{3,525}{3,575}$	6,854	$\frac{3,525}{3,329}$
営業利益 売上高比	607 8.1%	$\frac{418}{189}$	680 9.6%	$\frac{309}{371}$	642 9.4%	$\frac{309}{333}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	698万台	$\frac{345}{353}$	600万台	$\frac{298}{302}$	575万台	$\frac{298}{277}$
交換レンズ	971万本	$\frac{477}{494}$	840万本	$\frac{420}{420}$	823万本	$\frac{420}{403}$
コンパクト デジタルカメラ	1,714万台	$\frac{826}{888}$	1,150万台	$\frac{580}{570}$	1,116万台	$\frac{580}{536}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,923万台		1,720万台		1,678万台	
交換レンズ 市場規模	2,964万本		2,700万本		2,628万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	6,808万台		4,350万台		4,118万台	

欧州と中国のカメラ市況の悪化が前回予想を上回り、販売台数・売上高・営業利益とも未達。
前年比では、ミックス改善、コストダウンで増益確保

2014年3月期 インストルメンツカンパニー

単位：億円	13年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	14年3月期 実績	上期 下期
売上高	538	$\frac{237}{301}$	620	$\frac{260}{360}$	647	$\frac{260}{387}$
営業利益 売上高比	▲ 49 —%	$\frac{▲ 29}{▲ 20}$	▲ 20 —%	$\frac{▲ 34}{14}$	▲ 21 —%	$\frac{▲ 34}{13}$

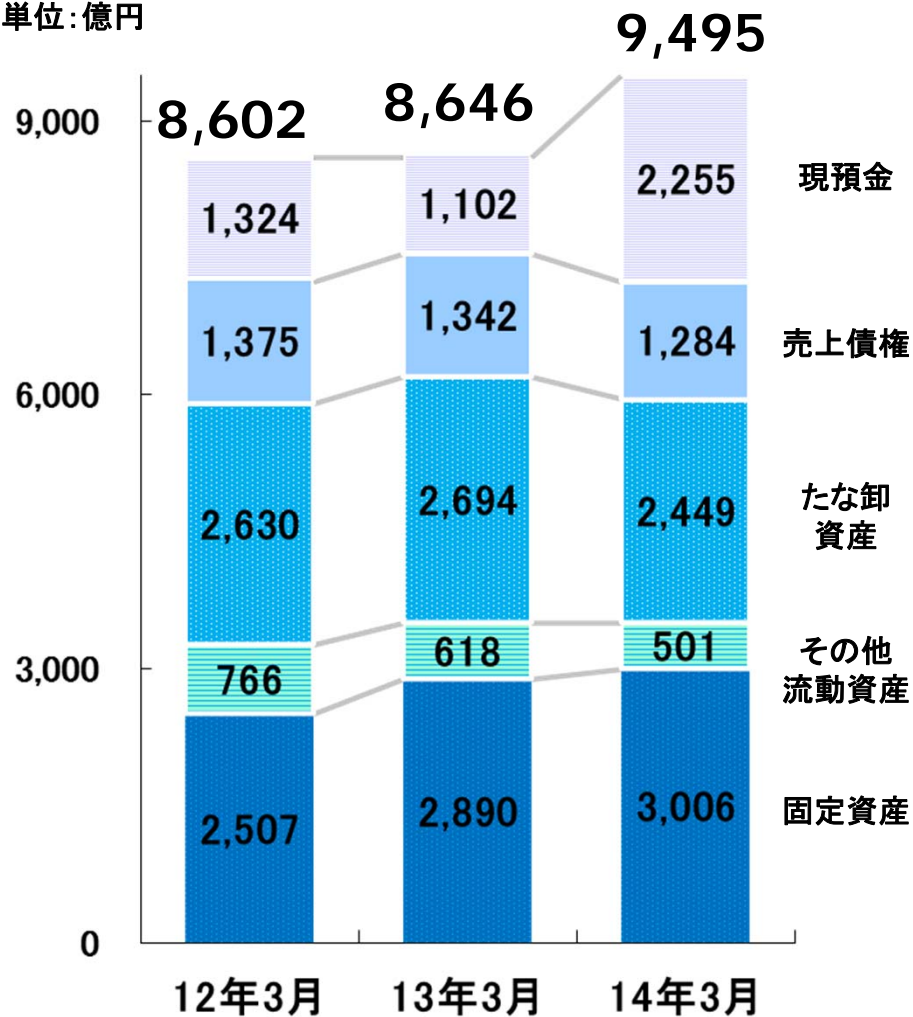
バイオサイエンス・産業機器分野ともに市況好転。
前年比、売上を20%伸ばし、営業利益は28億円改善



2014年3月期 B/S内訳

資産

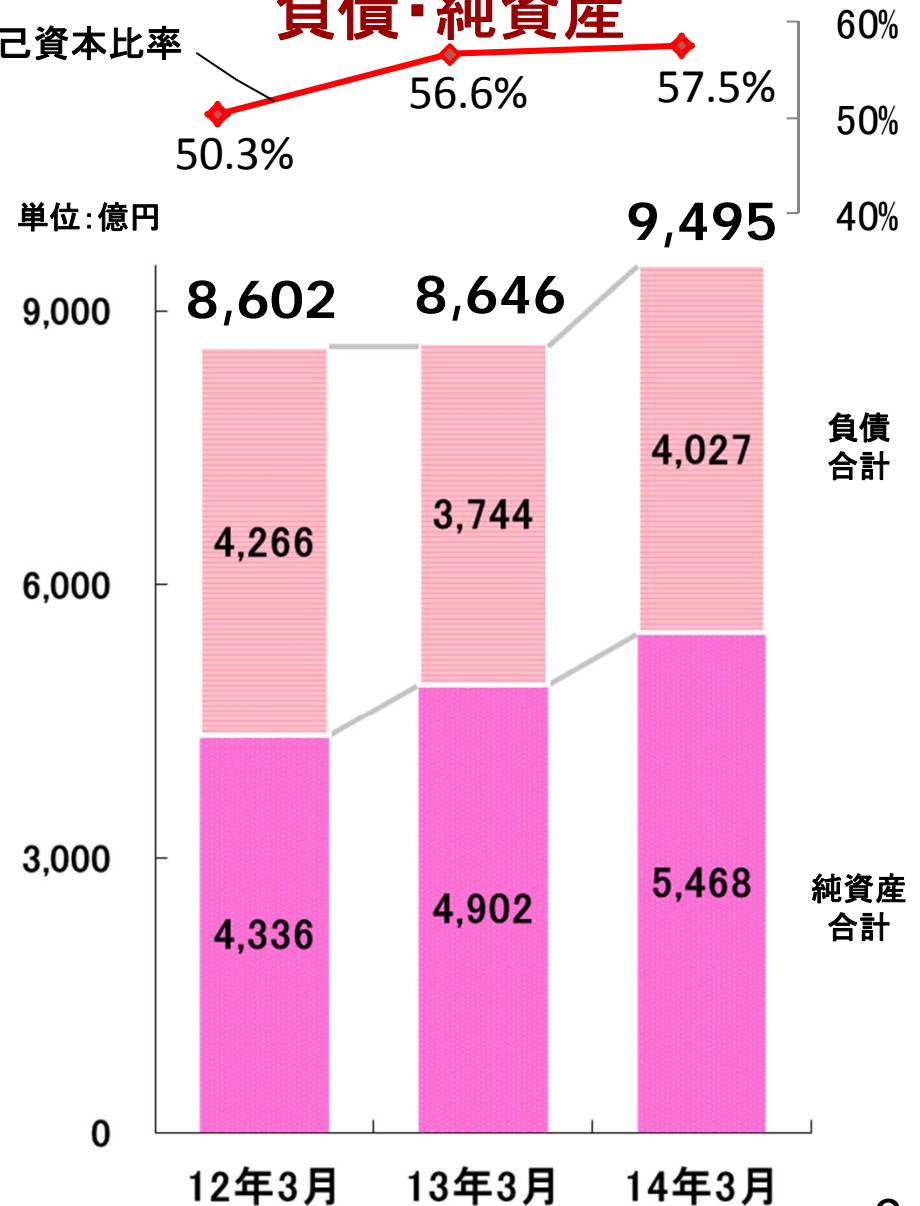
単位：億円



負債・純資産

自己資本比率

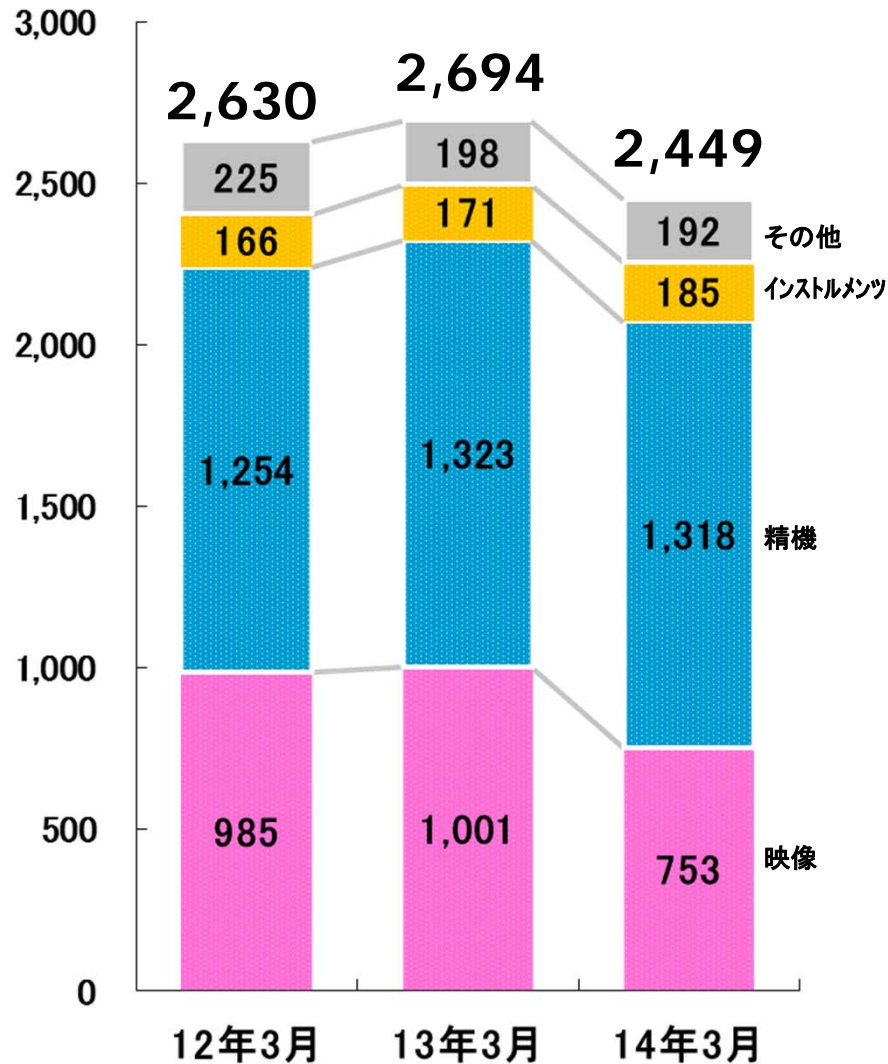
単位：億円



2014年3月期 棚卸資産 現預金・有利子負債

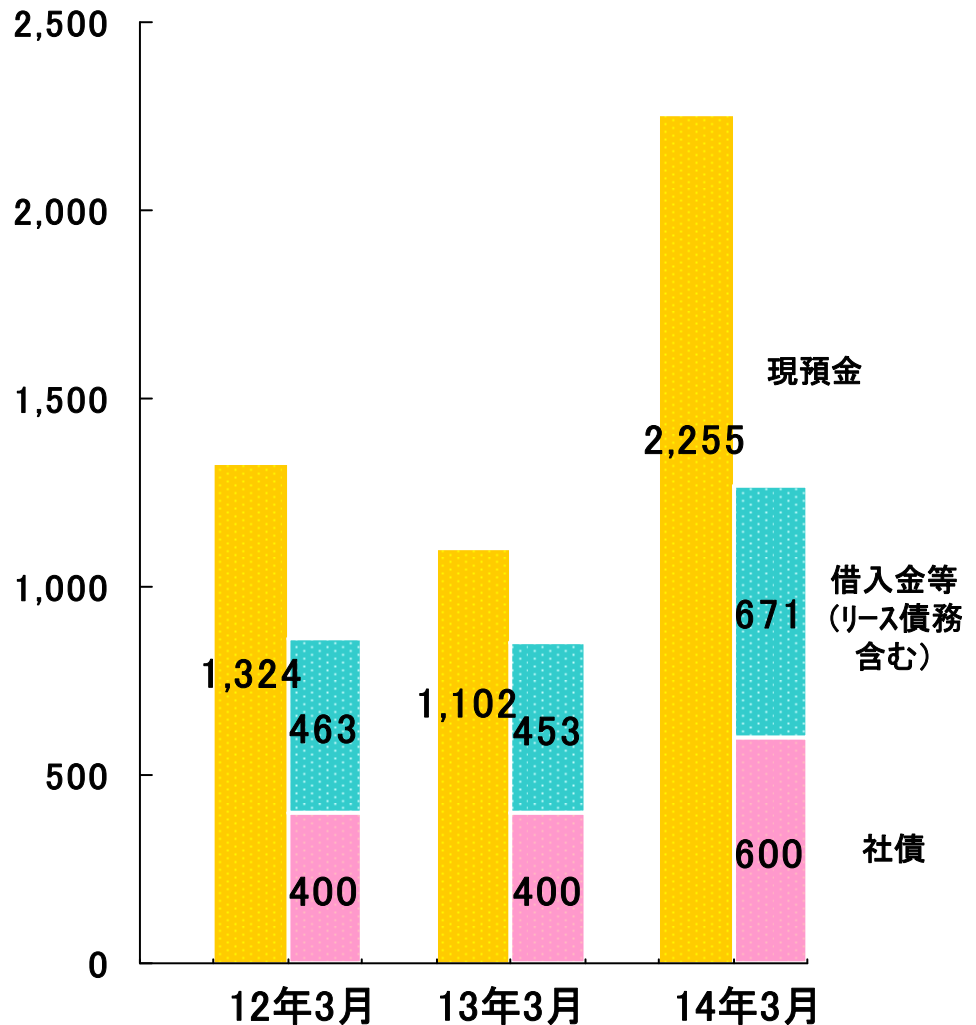
棚卸資産

単位：億円



現預金・有利子負債

単位：億円



Agenda

I . 2014年3月期の概況

II . 2015年3月期の見通し

III . 参考データ

2015年3月期 見通しポイント

◆**精機事業はほぼ前年並み、映像事業は減収・増益、インストルメンツは増収・黒字転換を見込む。**

会社全体では4%減収。営業利益は既存事業で改善を見込むが、新規事業関連の経費増により横ばいの計画

【精機】

半導体露光装置ではArF液浸スキャナーの販売台数増加を見込むが、FPD露光装置は市場縮小、販売台数減少の見通し。
売上・営業利益ともほぼ前年並みの計画

【映像】

レンズ交換式カメラ・コンパクトカメラともに市場縮小が続く。
上期は依然厳しく、下期にかけて市況回復期待。8%減収だが増益計画

【インストルメンツ】

バイオ分野ではW.W.の公共予算は増えない見通しだが、シェア拡大により増収を図る。産業分野では、自動車・航空機産業向け、半導体・電子部品向け製品の販売を伸ばす。8%増収、黒字転換の計画

◆年間配当金は32円(中間配当金10円)を予定

2015年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	15年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比
売上高	9,805	$\frac{4,704}{5,101}$	9,400	$\frac{4,100}{5,300}$	▲ 405
営業利益 売上高比	629 6.4%	$\frac{219}{410}$	630 6.7%	$\frac{100}{530}$	+ 1
経常利益 売上高比	617 6.3%	$\frac{200}{417}$	660 7.0%	$\frac{120}{540}$	+ 43
当期純利益 売上高比	468 4.8%	$\frac{136}{332}$	450 4.8%	$\frac{80}{370}$	▲ 18
FCF	709		400		▲ 309
為替 ドル	100円	$\frac{99円}{102円}$	100円		売上高への予想影響額 約 + 96億円
ユーロ	134円	$\frac{130円}{139円}$	140円		営業利益への予想影響額 約 + 66億円

事業環境は厳しいが収益性改善を図り、前年並みの営業利益を確保する計画

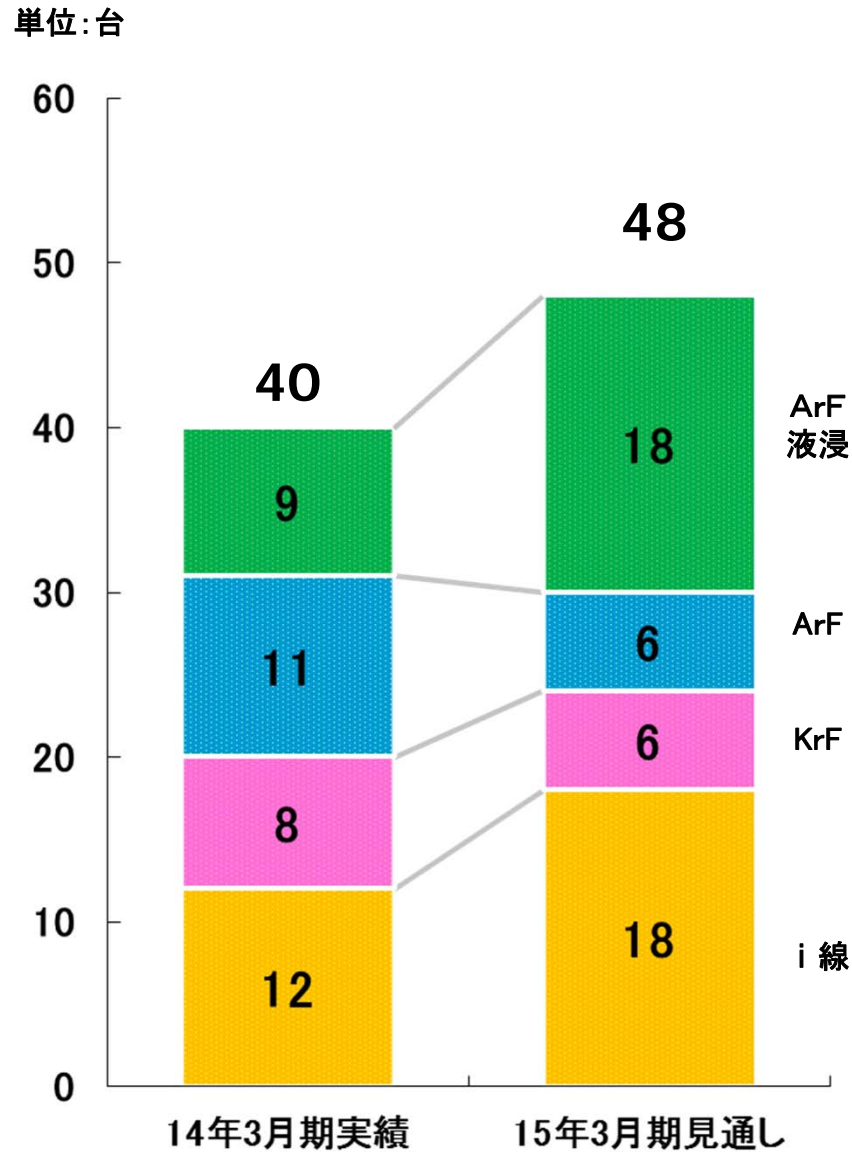
2015年3月期 見通し 精機カンパニー

単位：億円	14年3月期 実績	上期 下期	15年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,054	$\frac{798}{1,256}$	2,100	$\frac{700}{1,400}$
営業利益 売上高比	200 9.7%	$\frac{37}{163}$	190 9.0%	$\frac{\blacktriangle 40}{230}$
半導体露光装置 新品／中古	32/8台	$\frac{10/2}{22/6}$	34/14台	$\frac{10/2}{24/12}$
FPD露光装置	56台	$\frac{35}{21}$	34台	$\frac{13}{21}$
半導体露光装置 市場規模 CY13/14	209台		230台程度	
FPD露光装置 市場規模 CY13/14	73台		55台程度	

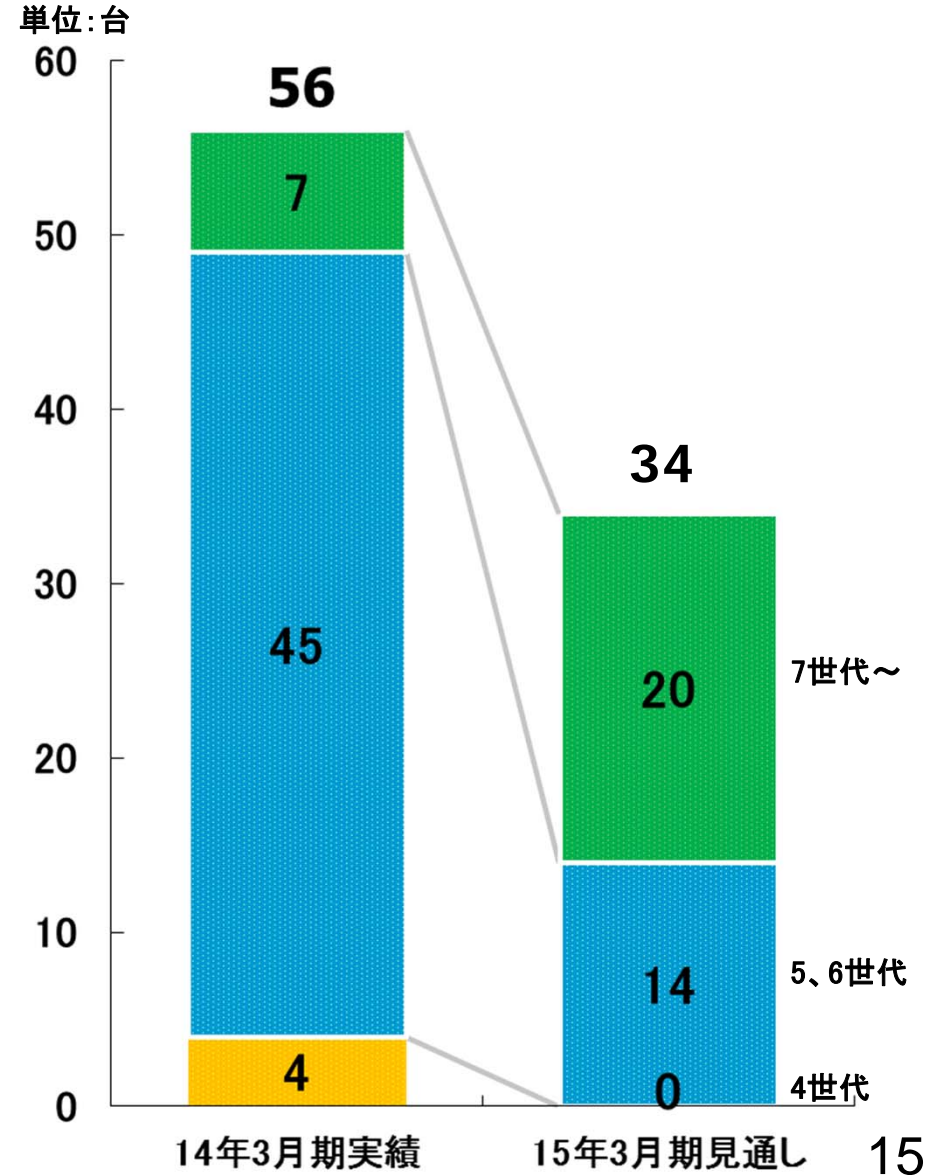
FPD露光装置は、中小型高精細パネル向けの投資が一巡して市場が縮小するため、販売台数は減少する見通し。一方、半導体露光装置ではArF液浸スキャナーの販売台数を大きく伸ばし、カンパニーとしてはほぼ前年並みの業績を維持

2015年3月期 見通し 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)



FPD露光装置世代別販売台数



2015年3月期 見通し 映像カンパニー

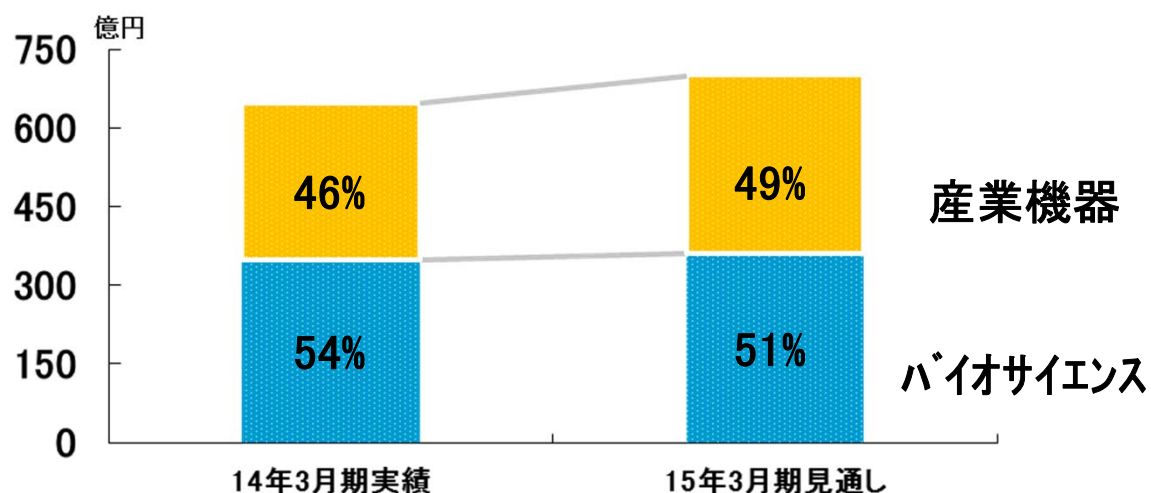
単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	15年3月期 見通し	上期 下期
売上高	6,854	$\frac{3,525}{3,329}$	6,300	$\frac{3,000}{3,300}$
営業利益 売上高比	642 9.4%	$\frac{309}{333}$	660 10.5%	$\frac{270}{390}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	575万台	$\frac{298}{277}$	540万台	$\frac{255}{285}$
交換レンズ	823万本	$\frac{420}{403}$	745万本	$\frac{350}{395}^*$
コンパクト デジタルカメラ	1,116万台	$\frac{580}{536}$	900万台	$\frac{410}{490}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,678万台		1,580万台	
交換レンズ 市場規模	2,628万本		2,500万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	4,118万台		3,100万台	

販売台数は、レンズ交換式カメラ 6%減少、コンパクトタイプ 19%減少の見込み。
商品ミックス改善やコスト削減を徹底し、前年比で営業利益は微増

2015年3月期 見通し インstrumentカンパニー

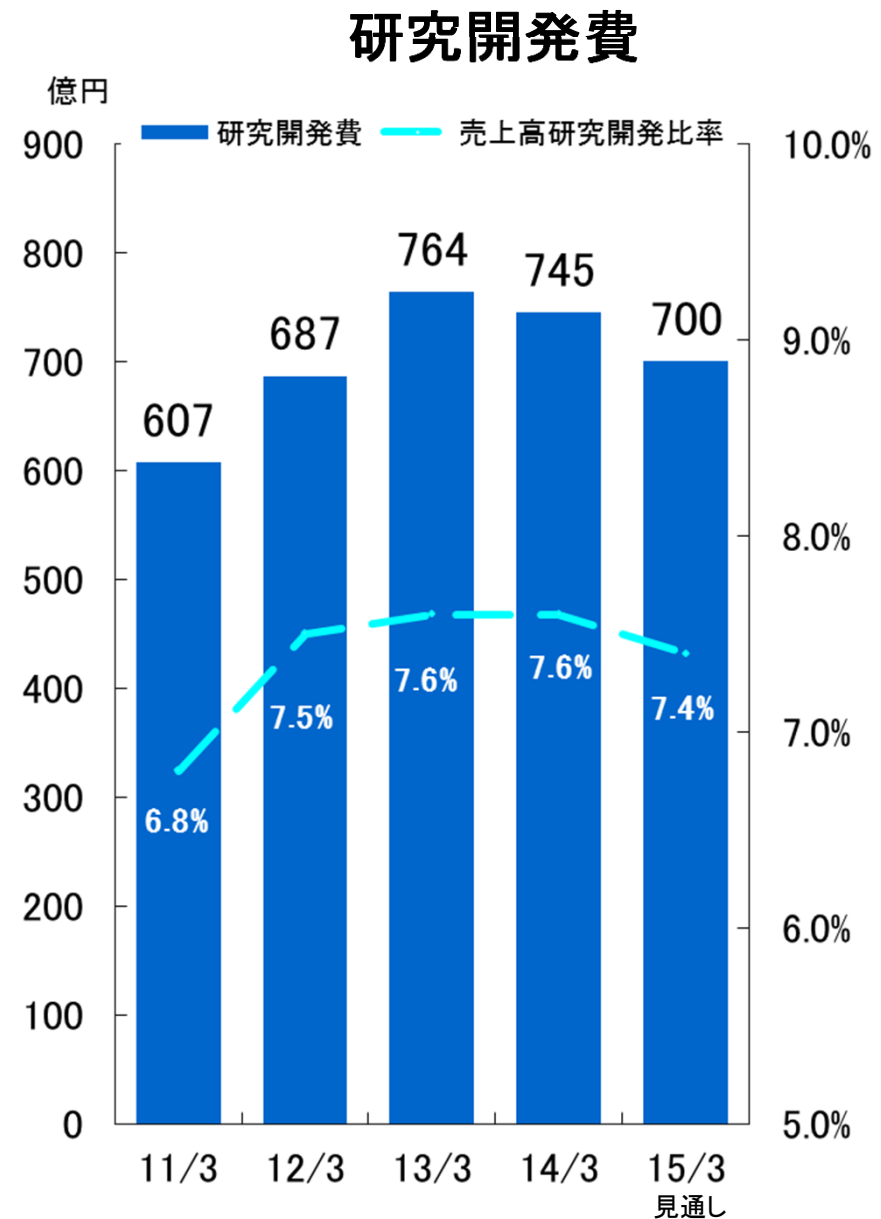
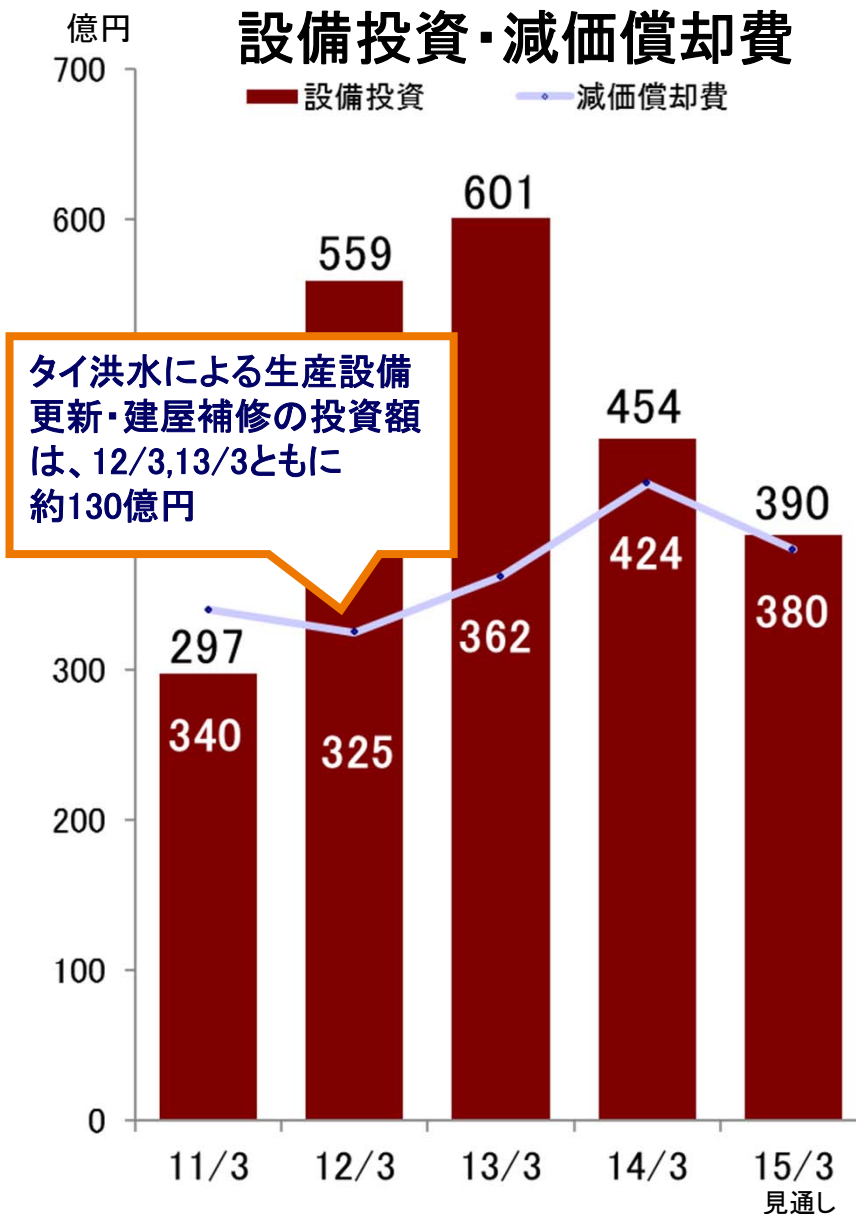
単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	15年3月期 見通し	上期 下期
売上高	647	$\frac{260}{387}$	700	$\frac{300}{400}$
営業利益 売上高比	▲21 -%	$\frac{▲34}{13}$	10 1.4%	$\frac{▲20}{30}$

バイオサイエンス分野・産業機器分野ともにアジアシフトを進め、増収、黒字転換の計画



2015年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費

株式会社ニコン
広報・IR部



* 2015年3月期より、ニコングループの減価償却方法を定額法に統一

Agenda

I. 2014年3月期の概況

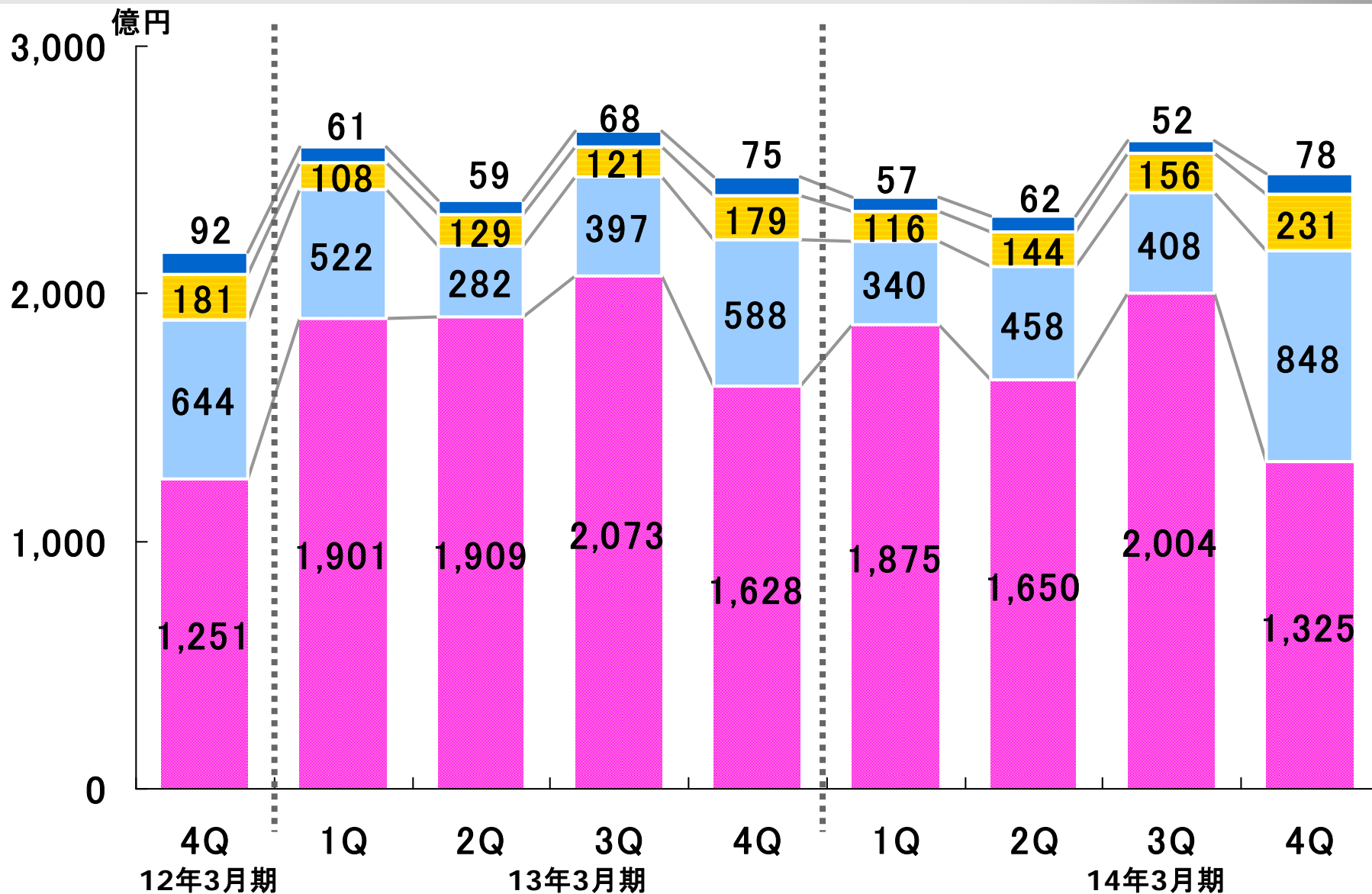
II. 2015年3月期の見通し

III. 参考データ

2015年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	15年3月期 前提	売上高	営業利益
USDドル	100 円	約 42 億円	約 3 億円
ユーロ	140 円	約 16 億円	約 11 億円

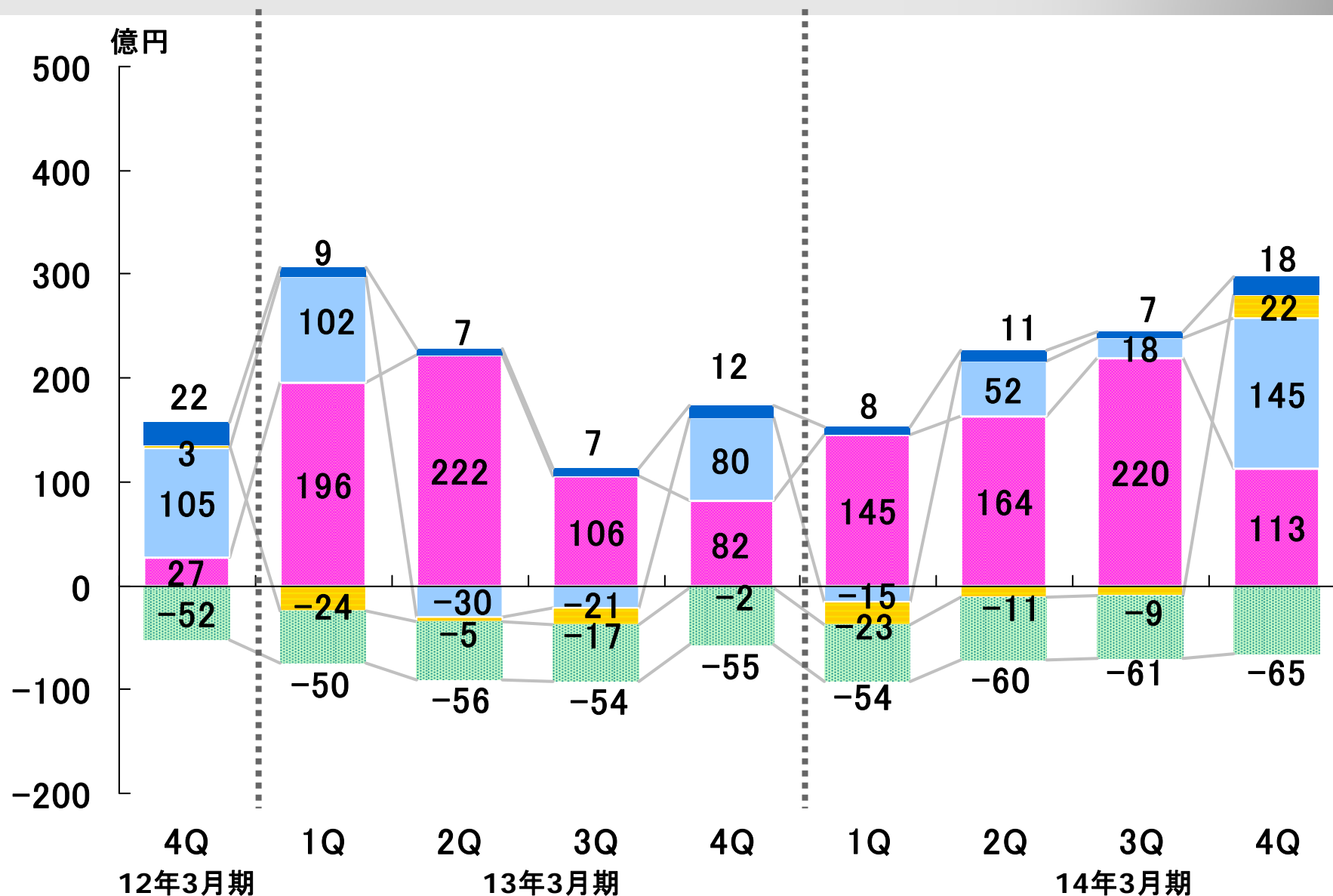
参考データ 四半期セグメント別売上高推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION